

月間絵本の取り組みについて

今年度のさくら組では、一年間でその月ごとの絵本を子どもたちと楽しんでいきたいと考えています。この取り組みを通して子どもたちの聞く力、想像する力、共感する心が育ってもらえたら良いなと考えています。

子どもたちの活動について

- ・こどものとも社の月間絵本を一人1冊毎月プレゼントします。その月の絵本は月末までクラスで保管して、自由に手に取ることが出来ます。
- ・朝の集まりの時間に、一日1冊「その子の」絵本を読んでいます。
- ・月末にその月の絵本をご家庭にお渡しします。おうちでも楽しんでいただくと嬉しいです。

月間絵本の効果・効能について

(こどものとも社より一部抜粋)

- ・**自己肯定感が育つ**…読み聞かせてあげることで自己肯定感(自尊感情)を高めます。
- ・**本が好きになる**…大好きな人に読んでもらうことで自分の絵本に愛着を持ちます。愛着を持つことで本が好きになり、その後の読書活動に繋がっていきます。
- ・**言葉が豊かに**…美しい日本語や同じおはなしを繰り返し何度も聞くことで、聞く耳が育ちます。
- ・**見る力が育つ**…同じ絵本をくり返し見ることで、絵に描かれているさまざまな『ことば』や情報を読み取る力がつきます。
- ・**想像力、創造力が育つ**…絵本を繰り返し楽しむ中でおはなしの世界に入り込み、想像する力、創造する力が育ちます。
- ・**集中力が付く**…時間を忘れておはなしを楽しむ中で、聞く時間や見る時間が長くなり集中力が育まれます。